

様式第3号（第11条第2項関係）

議 事 概 要 書（案）	
第1回 玉野市水道事業審議会	
開 催 日 時	令和7年2月14日（金曜日）14時から15時まで
開 催 場 所	玉野市役所3階 特別会議室
出席者	玉野市水道事業審議会委員8名 戸前会長、本田副会長、原田委員、西委員、小松委員、住吉委員、浅野委員、三浦委員 柴田市長他事務局7名 熊沢建設部長、白神水道課長、相澤水道課長補佐、岡野配給水担当主幹、塚常配給水係長、松井管理係長、亀山業務係長
傍聴の可否	可（傍聴人数1人）
審 議 概 要	<p>1. 開会 2. 委員紹介 3. 議事 (1)令和5年度決算概要について (2)水道事業の投資・財政計画について 4. 閉会</p> <p>3. 議事 ＜事務局説明＞ (2)水道事業の投資・財政計画について ＜委員＞ 現状のままでは、経営状況が悪化していくが、現段階で水道料金を上げる以外の方法で改善が可能なのか。何か計画案はあるのでしょうか。 ＜事務局＞ 対策としては事業の合理化を図るのは当然ではあるが、全てが解決するようなどころではなく、根本的な解決策が必要な時期に来ていると思っております。 経費の削減とか支出を抑える、当然、収入に関しても増える方法があれば良いのですが、人口減少がやはり大きく収入の増というのはなかなか見込めない状況の中で支出を抑えるということになると、やはり耐震化等の整備状況が遅れるということもありますので、必要な支出はやはり確保しないとイケない。この収支の逆転現象を改善することができない状況になっているということで、今回、審議していただきたく提案を</p>

させていただきます。

<委員>

グラフ6において、内部留保を取り崩すようなグラフですけれども、他市も10%ぐらい値上げをされる計画になっている。仮に玉野市においても10%とか他市同様ぐらいの値上げをした場合、このグラフはどのようなになるのでしょうか。

また、9ページの県内の料金改定の動きなどから内容を読み解くには、他市もいろいろ困っているのだと思います。

岡山県下の他市と情報交換を積極的にやって、グッドプラクティスがあるのならば、良いやり方、良い情報等を共有していくという動きもとられてはいかがかと思います。

<事務局>

今後、改定率をどの程度に設定にするのか、どのあたりが妥当なラインなのか、この審議会等々でご審議いただきたいと考えております。また、積極的に他市ともコンタクトを取り、話の場を設けながら、良い意見があれば取り入れていきたいと考えております。

<委員>

グラフ3の送水管耐震適合率の耐震化状況について、岡山県の平均は29%で玉野市が37%ですけれども、県内で一番耐震化率高いのはどの市町村なのか。

先ほど委員の方からあったように、他市との情報交換として耐震化が進んでいる事業者の工事の進め方などを含め、情報提供があればいかがかと思います。

<事務局>

次回以降の審議会の中で、そういった耐震化等の情報提供もしてまいります。

<市長>

収支の将来的な予測について、留保資金が目減りすると予測されております。現行、玉野市は水道料金が安く、東洋経済新報社の住みよさのランキングにおいて、全国で812市区町村のうち166位で岡山県内では1位でございます。ランキングを出すにあたっての大きな要素に水道料金や公園の1人当たり面積などがあり、水道料金の安さでポイントが上がっております。

市民生活や事業者の皆さんへの影響を考えると安易な値上げはしたくないものの、管の老朽化や耐震化の課題に加え、受水の費用が2割近くアップされたことを踏まえると、その議論に踏み込んでいかざるを得ないと思っています。

様々な課題がある中、今後、審議会の方で、議論をしていただければ

と思っております。

<その他・委員からの感想等>

・先般の埼玉県での事故を受けて、近隣の住民は下水あるいは水道水の利用制限を受けた。

水道ってというのはとにかく何が何でも必要なもので大変なことになる。一部の意見ではありますが、玉野市は県下でも安い料金で我々の毎日の生活に必要な水道を支えてくれているのはありがたい。ただ、安くても事故など何か起きてはいけない。そういうことも踏まえて少し高くなっても安全が確保されるならば納得してもらえんと思います。

・子供たちは、水道をひねれば飲める水が出てきて、それが当たり前だと思っている。その背景には事業者あるいは行政等も含めて、大変な日頃からのご努力があると思うのですが、皆に知らせるためにも情報発信をぜひお願いします。当たり前と思うのではなく関心を向けなきゃ駄目ですよってというのは、子供たちにも大人の人にも伝えていきます。

・報道を見ると、各市町村とも審議会の答申を受けて値上げということになっているので、地域の皆さんも、結果、値上げせざるを得ないだろうということは理解されている。ただ、当然、反対される方もいらっしゃると思いますので、資料とかデータを公にして、市民の皆様にもこういう状況で厳しいということを経験提供して知っていただくのが大切だと思います。

・全国で水道管の漏水等の問題がありますので、耐震化についてもっと加速し、対策を講じていかなければ、多大な被害が生じるということが想定される。どこの市民も同じだと思いますが、当然、料金は安い方がいいとは思いますが、そうすると手立てができない箇所は出てくるだろう。

安全で安定的な水をご自宅に届けるために、将来の耐震化の目標等わかる範囲で示すことで、より理解が深まるのではと思います。

・年間配水量と年間有収水量について、ご説明の中では漏水等であるということでしたが、この漏水の割合が右肩上がりが増えてきているため、今後、急激に指数的に増えてくるという可能性があるのではと感じました。

・料金を上げるのは理解できる、料金を上げたらそれに対しての効果を知りたい。

また、能登半島地震において、耐震化したところはどうだったのか。現在の玉野市と能登が実施している耐震化は同様のものなのか、あるいは新たな手法の耐震化があるのか等、技術的な調査研究をされてい

	<p>るのか、今後、そういう場面がありましたら教示してほしいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の審議会のときも、高度成長期に布設した水道管は、順次、耐用年数を迎え、経営状況が厳しくなるため、水道料金の見直しの話もあったが、値上げには至りませんでした。 若い人たち、次の世代の人たちに多くの借金を先送りせず、今の人がある程度負担してやっていかないといけないと思っています。</li> <li>・他県では大きな水道管が破裂したり、他の自治体ではPFASが入っていたり、生活していく上で、きちとした対策が取られてない何かおそろかになっているなという気がしています。水質では、現在のところ日本では明確な害がわからないから、検討中ということですが、基準値の何倍もの数値が出ています。 高梁川は大丈夫なのかと思いますけれども、それを防ぐためにも、私達は家庭からの排水も綺麗な水を流して、川にも汚いものは流さないというような取り組みをさせていただいて、無駄な経費を使わずにできることになったらいいなという目で見ております。</li> <li>・今日の場合というのは、水道事業が厳しいという現状をみんなで認識を共有する場になると思っておりましたが、今回の審議会では、むしろそれだけではなく委員の皆様から積極的ないろんなアイデアが出てきたという印象を受けました。他の市町村のアイデアを参考にするとか、市民の皆さんに理解を得ていくための工夫など、すごく大事だと改めて思いました。来年度から水道事業の合理化や改善に向けて計画を立てていかれると思うので、ぜひ参考にしてほしいと思います。</li> </ul> <p>&lt;議事終了&gt;</p> <p>4. 閉会</p>
特記事項	
事務局	玉野市建設部水道課（電話 0863-33-9666）